

スマイルさん



いいだ

社協情報
あまめで

第70号

小学生もお年寄りも ふれあい“ベンチ”でちょっとひとやすみ

「かざこし木楽会」(会員二十五人)は、「風越山の間伐材や、大雨のあと、荒れたままになっている倒木を有効活用できないか」という代表の久保田睦さんの想いから始まりました。活動のきっかけは、キャリア教育で、林業を体験したという西中学校の生徒さんの話を聞き、それをヒントに生徒の皆さんの意見を取り入れ

風越山の麓に位置する丸山地区は、中央道を境に坂道が多く、高齢化が進み、道端の縁石や石垣に腰掛けている高齢者をよく見かけます。今回は、「ちょっとひと休みできる所がほしい」とそんな思いで、風越山の間伐材を利用してベンチを作り、あちこちに置いていくれている「かざこし木楽会」の皆さんを取材しました。

「おがえりなさい」
明るい声で一声かける

発行月 平成23年9月
発行 9月
社会福祉法人飯田市社会福祉協議会
〒395-0024 飯田市東栄町3108-1
TEL: 0265-53-3040
FAX: 0265-53-3186
HP: <http://www.iidashakyo.or.jp/>
e-mail: is@iidashakyo.or.jp
印刷 龍共印刷株式会社

● おもな内容 ●

- 1面 スマイルさん
- 2面 飯田市災害ボランティアバスパック
- 3~4面 平成22年度事業報告
- 5面 ちょっといいお話
- 6面 赤い羽根共同募金
- 7面 地域で暮らし、働くために
- 8面 平成24年度飯田市社会福祉協議会奨学生募集
- 9面 飯田市社会福祉協議会新体制
- 10面 情報コーナー



ながら、鳥の巣箱を作ったのがスタートでした。そのきっかけが、地区の文化祭の中での木を使った子ども向けの作品やベンチの作成へとつながっていきました。男性は男性の視点で、女性は女性の視点で木の形を見ると、アレになるかなコノ方が木が生きるかなど次々とアイディアが浮かび楽しい。そこから「木楽会」と命名されました。
ベンチには今日も、子供たちの学校帰りを待ちながら、話に花を咲かせている近所のおばさんたちがいます。



飯田市災害ボランティアバスパック

社協職員と参加者からの感想

三月十一日に発生した東日本大震災は太平洋沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしました。

中でも、特に被害の大きかった東北地方では、震災から六ヶ月を経過した今でも多くの方が仮設住宅に暮らし、不慣れた生活を強いられているのが現状です。発災直後より、多くの市民の方から「復興の手助けをしたい!」「何か役に立てることはないのか?」等多数の声をいただきました。これに応え、飯田市民の熱い思いと力を被災地に届けるため、飯田市社協では飯田市と連携して東北地方の災害ボランティアセンターや長野県社協と連絡調整し、「飯田市災害ボランティアバスパック」を企画し、現在までに三回実施してまいりました。

第一回 飯田市

災害ボランティア

バスパック

(平成二十三年五月二十七日～三十日)

一般応募された市民十八名、市職員二名、社協職員二名、総勢二十二名で岩手県山田町に行つて参りました。活動は現地ボランティアセンターの指示のもと、一日目は高齢者など個人宅の瓦礫の撤去を、二日目は現地ボランティア団体主催の炊き出しの補助を行い、事故などもなく戻ることができました。被災者の方からは感謝の声をいただき、バスパックに参加された方からは参加して良かったという声が聞かれ、飯田市社協としても今後も継続していききたいという手応えを感じました。



★参加者から

・瓦礫の撤去を一日目にやりましたが、家主の人に初めていきあった時、すごくしょんぼりしていました。しかし、撤去作業が進むにつれ笑顔がこぼれはじめ、作業終了時には朝とは別人のような顔つきになったのでとても嬉しかったです。

第二回 飯田市

災害ボランティア

バスパック

(平成二十三年七月十五日～十八日)



★参加者から

第一回バスパックと同様に岩手県山田町で二日間、個人宅の土砂の掻き出しや細かな瓦礫の撤去等行いました。三十度以上の炎天下の中での活動でしたが、依頼者から声をかけていただいたり、近隣の方達からのお茶の差し入れをいただくなど交流の機会にも恵まれました。

移動中、民家や施設等から集められた山のような瓦礫がいたるところにまともって置いてあり、被害の大きさを自分の目や肌で感じ、復興にまだ時間が必要なことを強く思いました。

・一軒の家屋のかき出し作業が思った以上に進まなくて、自然災害の凄さを感じました。

・現地に集う各地からの多くの人を目にした時、日本人でいる事に誇りを感じました。

そして今、この現状を多くの人に伝えて、長く東北を支えていこうと思います。

ガンバロウ、東北!

平成22年度 事業報告(概要)

支え合う

ふれあう

学びあう

知りあう

平成22年度においては、市民の皆様や関係機関の協力のもと、各事業ともおおむね良好に実施でき、地域福祉の向上と介護サービスの充実を図ることができました。

地域福祉推進事業

まちづくり委員会の福祉関係者との情報交換会を開催し、地域との連携強化を目指して、地域福祉活動コーディネーターの地域への訪問を充実させました。

配食サービス事業

食事の用意が難しい高齢者が十分な栄養を得られ、同時に安否確認ができるように、弁当を有償で配達しました。また、夜間の配食に対応できる施設を増やしました。

災害時助け合いマップづくり

災害時に備えるとともに、日頃の地域の支え合い活動に生かしていただくために、助け合いマップづくりを推進してまいりました。今後は、マップの活用の仕方やシステム化について検討していきます。

有償福祉(移送)サービス事業

高齢者や障がい者の移動手段の確保のため、地域住民のご協力のもと、事業を実施しました。

長寿社会事業

敬老の日にあわせ長寿のお祝いに高齢者を訪問し祝品を贈呈しました。また介護者の方のリフレッシュを目的に懇親会等を催しました。

介護予防事業とフォローアップ事業

要介護にならないように、健康維持のための教室(介護予防)を定期的に関き、そこを終えた方を対象にした別の教室(フォローアップ)を設けています。竜丘・丸山に続き龍江でもフォローアップ事業を開始しました。



ボランティアセンター活動事業

市民にボランティアに関心をもってもらうために、ボランティア(点訳、手話、朗読奉仕員、要約筆記者)の養成や、ボランティアグループの活動費の助成を行ないました。また、市内の小・中・高等学校において、出前福祉講座・サマーチャレンジボランティアなどを通して福祉教育の推進をしたほか、障がい者の料理教室を支援しました。

資金貸付事業(善意銀行事業)

ボランティア団体やNPO団体、まちづくり委員会などの社会福祉活動に対する助成や、低所得者に対する生活資金の貸付などを行ないました。

福祉サービス利用援助事業

日常生活自立支援事業では、判断能力の不十分な方が在宅で長く暮らせるように、福祉サービスの利用について支援しました。また、ファミリーサポートセンターでは、託児や家事の支援を求める声に応じて協力会員さんを派遣し、依頼者が仕事と育児(家事)を両立できるように支援しました。

相談事業

一般心配ごと相談、特別心配ごと相談、法律相談、結婚相談を行ないました。結婚相談では、イベントを9回実施して、4組がご結婚されました。

訪問介護部門（ヘルパー）

いいだ・かわじの各ヘルパーステーションは安定した利用率を保っており、層の厚い登録ヘルパーで需要にこたえることができました。

通所介護部門（デイサービス）

「ご利用者の多様なニーズに応えられるデイサービス」として、いいだ・上郷・北部・竜東・竜東知久平・南信濃の各デイでは7割～9割の高い利用率を保ちました。

遠山荘・遠山支所管内

遠山荘では利用定員が8床増え、防火対策としてスプリンクラーを設置しました。また、職員を対象に人材育成に取り組みました。

訪問入浴サービス部門

利用回数は1日平均5件で、安定した実績を保っています。

赤い羽根共同募金事業

多くの皆様からご寄付いただいた募金は、各地区や社会福祉施設などへ還元され、事業や遊具の修繕などの費用として地域住民の生活に役立てられました。

公益法人としての社会貢献活動

介護・看護資格を取得しようとする方への「奨学金制度」を創設し、23年度から募集を開始しています。また、「東日本大震災」「長野県北部地震」の被災地へ資金・物品の支援と職員の派遣を行ないました。

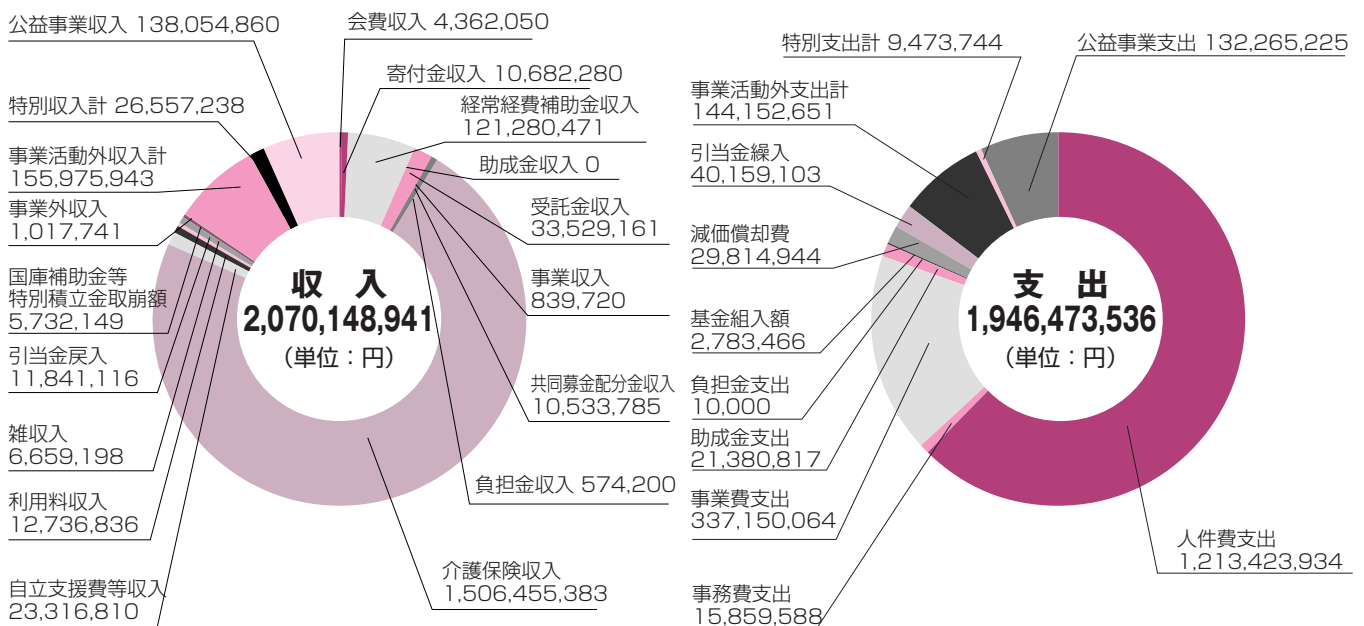
感染症対策

ご利用者のうがい・手洗いの習慣化や、職員のマスクや使い捨て手袋の着用を進めました。

介護事故防止対策

上半期に介護事故が発生してしまいましたが、対策の取り組みを強化し、下半期は事故を減らすことができました。

平成22年度 決算報告(概要)



一般会計117,885,770円、公益事業会計5,789,635円、合計123,675,405円の剰余金（利益）を計上できました。

美味しい料理で
秋も元気に！

健康で元気に過ごす為に、身近な野菜を使った栄養価の高い簡単料理です。

シリーズ
その21



ちよっと いいお話

やみつきハッシュドポテト

アルカリ性食品で、りんごやぶどうよりもアルカリ度が高く「美と健康の源」と言われるじゃがいもを使ったレシピです。

【材料】 4人分

- ・じゃがいも …………… 4個
- ・塩 …………… 小さじ1
- ・水（水気が少ない時だけ） …… 大さじ1
- ・揚げ油 …………… 適量

【作り方】

- ①じゃがいもの皮をむき粗みじんに切り、塩、水を入れ柔らかくなるまで茹でる。
- ②熱いうちに少しつぶしながら一口大に平べったくまとめる。
- ③色づくまで揚げる。外はカリ！中はモチッ！で出来上がり。

- *じゃがいもは潰し過ぎないようにする。
- *じゃがいもはデンプンで勝手にくっつきます。



ゴーヤとベーコンのチーズ焼き

節電、猛暑対策にゴーヤの緑のカーテンを作った方も多いのでは。栄養満点で、美味しいゴーヤを使った簡単料理です。おかずにもおつまみにもぴったりです。

【材料】 4人分

- ・ゴーヤ …………… 2本
- ・ベーコン …………… 5～6枚
- ・ピザ用チーズ ……たっぷり（お好みの量で）
- ・オリーブオイル …………… 大さじ2
- ・塩・コショウ …………… 少々
- ・ガーリックパウダー …………… 少々

【作り方】

- ①ゴーヤには縦半分になり中のわたを取って半月切りにする。ベーコンは細かくカットする。
- ②フライパンにオリーブオイルを熱し、ベーコンを炒めてからゴーヤを加え、さっと炒め、塩、コショウ、ガーリックパウダーを入れ炒める。
- ③耐熱皿に②を移しチーズをかけてオーブントースターで5～6分、チーズに軽く焦げ目が付くまで焼いて出来上がり。

- *お好みでタバスコをかけても美味しいです。
- *ゴーヤは炒め過ぎないで。



まめのひざり言

努力は必ず報われる

最近、長年の付き合い合いですある腰痛がひどくなり、診察を受けました。

結果、脊髄が変形しており、いずれ脊柱管狭窄症になりやすいとの事でした。対処法は、まず体重を大幅に減らす事と、骨を支える筋肉の筋力アップが必要だそうです。

体重を減らすために

- ・食事はまず野菜だけをしっかりと食べてから、ご飯等を食べる
 - ・よく噛み、時間をかける
 - ・粉食はなるべくくしない
 - ・間食はしない
 - ・禁煙・節酒する
- など、テレビで知り（体も若返る）実践して、わずかですが2kg確実に減りました。続けたいです。

筋力アップの方ですが、一日の大半は椅子に座っての作業、移動は車で玄関から玄関へ。従って、下半身の筋力は年齢以下で、早速リハビリトレーニングも始めました。様々な器具を使って、一回三十分程度行なっています。

今年は特に暑いので、汗をかいた後の冷たいビールが美味しい事！トレーニングの疲れがビールの泡とともに、消えていきます。



赤い羽根共同募金

～地域の福祉、
みんなで参加～

今年も皆様の温かいご支援をお願い致します。 期間 平成23年10月1日～12月31日



23年度目標額 **16,000,000円**



飯田市配分計画

飯田市社会福祉協議会では、今年ご協力をお願いする募金で以下の事業を計画しています。

高齢者の福祉のために	4,102,140円	高齢者の集い・敬老会 ふれあいサロン、健康づくり事業、 敬老の日祝品の贈呈 他
障がい者の福祉のために	896,000円	障がい者交流会、希望の旅事業、障がい者 運動会、施設備品補助、障がい者料理教室 他
児童・青少年の福祉のために	1,667,360円	民間保育園への補助、遊具修繕、子育て支援 講座、一人親家庭の交流事業 他
住民全般の福祉のために	3,152,500円	地域福祉活動の支援、ボランティア団体支援、 ボランティア養成講座、地区広報誌の発行 他
長野県共同募金会繰入	6,182,000円	広域的福祉施設・福祉団体へ助成、 災害時の積み立て 他

第33回 ふれあい広場のお礼と報告

第33回ふれあい広場（7月22日～24日）は、多くの皆様の参加で無事開催することができました。関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

今年は3月11日に発生した東日本大震災を受けて、防災コーナーを特設し、仙台市福住町内会から見えた6名の方々の「被災体験」講座、被災ろう者の避難所生活の実態を記録した映画の上映、「三六災害や伊那谷の地震」の講座など、私たちが想像だにできなかった大規模災害の実態を学ぶことができました。被災地支援として、会場を訪れた方々のご理解ご協力で手づくりおもちゃ・日常生活食器類・東北名産品販売全額（209,070円）を直接手渡すことができました。皆様のご厚志ありがたく心よりお礼申し上げます。

最後に、チャリティーオークションへ出品し、「ふれあい広場」を支えて下さる作家の皆様をはじめ、バザー用品提供者・社協職員・実行委員の皆様へ感謝申し上げます。

NPO法人飯田ボランティア協会・第33回ふれあい広場実行委員会

“地域で暮らし、働くために”

シリーズ②

障がい者の就労支援について(2)

ハローワーク飯田職業紹介部門

上席職業指導官 佐々木 弘 司

障がいのある方が働く、働き続けるためには何らかの支援や配慮が必要となることが多く、そのために平成18年「障害者自立支援法」が施行されて以来、障がいのある方の就労に関する支援体制が強化されてきました。

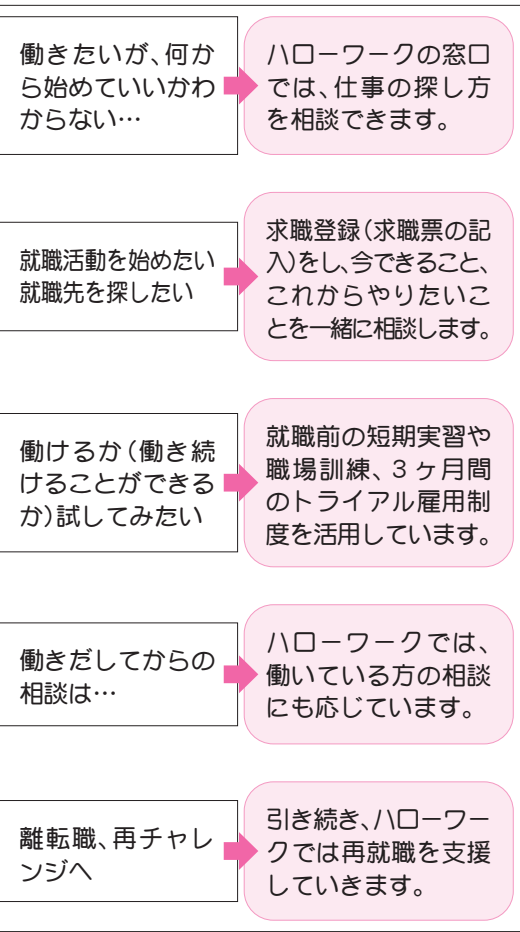
ハローワークにおける 就職支援

ハローワーク飯田では、各種の支援策を活用しながら、就職(就労)を希望する障がい者に対する職業相談、職業紹介・就職後の職場定着・継続雇用などの支援や、事業主に対する障がい者雇用の指導・支援を行っています。

特に、福祉、特別支援教育、医療から一般雇用への移行促進が重要な課題となっており、地域との関係機関との連携を一層強化しながら、よりきめ細かな支援を行っています。

ハローワークの窓口では

まず求職登録(求職票の記入)を行い、個別に具体的な求職活動の方法や職業選択の相談等、就職(就労)



各種支援策の活用

よりよい就職に向け、長野県短期トレーニング(短期の職場実習)、長野県民間活用委託訓練(三ヶ月程度の職場訓練)、トライアル雇用(三ヶ月間の試行就業)、ジョブコーチ(職場適応援助者)支援などの各種支援策を活用しています。

また、必要に応じ、求人企業に職場見学や職場実習の依頼、就職面接への同行も行っていきます。

障がい者向け求人確保

障がい者向け求人確保を行うとともに、一般求人として受理したもののうちからその障がい者に適したものについて障がい者求人への転換を勧め、求人確保に努めています。

また、毎年秋には、求人者・求職者が一堂に会する就職面接会(ふれあい面接会)も開催しています。

障がい者の登録・就職の状況

平成二十三年六月末現在、ハローワーク飯田へ求職登録している障がい者は一、六九三人、内訳は、身体障がい者一、〇二六人、知的障がい者四五五人、精神障がい者二〇五人、発達障がい者等その他の障がい者七名となつています。

就職件数は、平成二十一年度九十名(月平均七・五名)、平成二十二年度一四四名(月平均九・五名)と、就職件数は増加となっています。

関係機関との連携

的確な支援・指導を行うに当たって、より専門的な支援などが必要な場合に、障害者就業・生活支援センターにおける生活面を含めた支援を紹介するなど、関係機関と連携した就職支援、職場定着支援などを行っています。

平成24年度 飯田市社会福祉協議会 奨学生募集

飯田市社会福祉協議会では、福祉人材の確保・育成を目的に介護保険事業による利益を財源とし、当地域への貢献のため、平成24年4月からの奨学生を募集します。

1. 応募期間 平成23年9月1日(木)～10月14日(金)

2. 応募方法 当社協に来ていただくか、又は当社協ホームページから申請に必要な様式等をダウンロードしていただき、必要書類を添付して平成23年9月1日(木)以降に応募していただきます。

【申請に必要な書類】

■飯田市社会福祉協議会奨学金申請書（当社協様式）

※扶養義務者（生計中心者）の前年分の所得証明書、源泉徴収票、確定申告書の控えなど、所得を証明できるものを添付する必要があります。

■飯田市社会福祉協議会奨学生推薦書（当社協様式）

※9月現在在籍する学校の在学期間が1年に満たない場合は、その直前に在学した学校長の推薦が必要です（直前に在籍した学校がない場合は、ご相談下さい）。それ以外は、現在在籍する学校長の推薦が必要です。ただし、学校側で事務的な理由により推薦書を出せないという場合は、成績証明書を発行してもらってください。

◎在学証明書（審査合格後、平成24年4月1日以降の日付のものが必要になります）

3. 審査

当社協奨学金制度委員会において書類審査し決定しますが、その後面接審査することもあります。

4. 貸与

1年以上飯田下伊那に居住している方や、その子、きょうだいなどで、介護福祉士や看護師（准看護師を除く）を目指す大学、短大、専門学校の学生を対象とし（高校生は対象としません）、月額3万円以内で数ヶ月分をまとめて貸与します。年齢制限はありません。

5. 貸与決定人数

1年につき3名とします。

6. 連帯保証人

貸与の決定後、飯田下伊那に居住し、相当の資力を持つ連帯保証人1名（親でも可）が必要になります。

7. 償還

学校を卒業した1年後から10年以内に償還していただきます。利息はありませんが、指定する期限内に償還できない場合は延滞利息がかかります。

8. 償還の免除

資格取得後、（看護師の場合は3年又は4年の病院等の勤務を経て）当社協に5年以上継続して勤めた場合、償還額の半額を免除します。また、同じく飯田下伊那の介護保険事業所などに5年以上継続して勤めた場合、償還額の3割を免除します。

◆お問い合わせ◆

〒395-0024 飯田市東栄町3108-1

さんとぴあ飯田内

飯田市社会福祉協議会 総務課 経理係

TEL **0265-53-3040**

飯田市社会福祉協議会では平成23年6月27日付で新会長、新理事を迎え、新たな役員体制で「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を進めてまいります。

いあい



この度飯田市社会福祉協議会
長に就任いたしました福田富廣
でございます。

もとより微力ではございます
が、最善をつくしてこの重責を
全うする所存でございますの
で、前山内会長同様格別のご支援、ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

昨今の社会福祉を取り巻く環境は、急速な少子高齢化、
一人暮らしや高齢者のみの世帯の激増、福祉ニーズの多
様化、介護保険制度を初めとする各種制度の改正など
刻々と変化しております。

このような中で、社会福祉協議会の方針である地域福
祉のまちづくりに重点をおき、飯田市の基本構想に掲げ
る、「住み続けたいまち、任んでみたいまち飯田」の実現
に向け、市民の皆さんが安心していきいきと地域で暮ら
せるよう市を始め関係団体の皆さんと連携して事業を進
めていきたいと思っております。

一方、介護保険事業者として、利用者の皆さんに満足
してもらえる質の高いサービスを提供していきたいと思
います。

介護保険制度発足以来、飯田市社協は一民間事業者と
してデイサービスセンターやヘルパーステーション等の
運営、合併に伴う複数の福祉施設の指定管理、更には、
特養二荘の指定管理など組織が急拡大してきました。

この間、職員は、「利用者に喜ばれるサービスの向上」を
念頭に一生懸命職務に励んできました。今後も、地域福
祉の拡充と介護保険事業者としての使命を果たすべく、
最善の努力をしていきますので、市民の皆様の一層のご
支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ
ます。

新しい役員体制が決まりました

新役員体制（任期：平成23年6月27日～平成25年6月26日）

理事名簿				理事名簿			
所属	及び	役職名	氏名	所属	及び	役職名	氏名
会 長	識見を有する者		福田 富廣	北部デイサービスセンター運営委員会	委員長		篠田 澄子
副 会 長	松尾地区まちづくり委員会	健康福祉部 部長	相原 正敏	社会保険労務士			西尾 玲子
副 会 長	識見を有する者		島岡 正子	中小企業診断士			林 郁夫
副 会 長	税理士		原 久	飯田市保健福祉部長			小池 永利
常務理事	識見を有する者		久保田吉則	識見を有する者			武分 祥子
理 事	羽場まちづくり委員会	健康福祉部 会長	塚田 郁	監事名簿			
"	龍江地域づくり委員会	福祉委員会 委員長	高橋 恵亮				
"	山本地域づくり委員会	福祉部 会長	林 武史				
"	上村まちづくり委員会	副会長	成澤 宏長				
"	飯田市民生児童委員協議会	会長	椎名 佑平				
				氏 名			
				知久 一彦			
				増澤ヨシ子			
				安静 章雄			

新第三者委員

社協に対するご意見やご要望など、事業所の職員に言いづらい場合は、公平な立場で相談にのってくれる「第三者委員」にご連絡下さい。

受付：午前9時～午後5時

氏 名	連 絡 先
吉 澤 健	080-5144-7583
佐 藤 エミ	080-5144-7582
清 水 富子	080-5144-7584

任期：平成23年6月27日～平成25年6月26日



掲 示 板

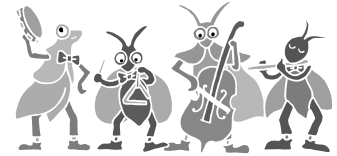


傾聴研修会を開催します



「傾聴」という言葉を聞いたことがありますか？
最近良く聞く「傾聴」という言葉。「傾聴」って何でしょう。
傾聴について学んでみませんか？

《興味のある方、是非お越し下さい！》



日 時：11月21日(月)午前9:30～12:00 (予定)

場 所：飯田勤労者福祉センター3F

講 師：松江和子氏 「私と地域と傾聴」

※鳥取県米子市出身。米子市こころの相談室長などを経て、長野県任期付き職員として着任。その後根羽村に派遣され、傾聴養成講座講師として活躍し、数多くの地域おこしに貢献した。

受講料：無 料

申し込み方法：11月18日(金)までに下記連絡先までお電話下さい。

※なおこの研修は、ファミリーサポートセンター生活支援協力会員、傾聴ボランティア及びシルバー人材センター会員の研修を兼ねています。

主 催：飯田市社会福祉協議会

共 催：飯田広域シルバー人材センター・根羽村社会福祉協議会・傾聴ボランティア「和」

お申し込み・お問い合わせは飯田市社会福祉協議会 53-3182 まで



ちょっと
一息

「おマメで」クイズ？？

今回のクイズは赤い羽根共同募金より「**まちがいさがし**」です。2つの絵の違いは何ヵ所でしょうか。答えがわかった方は下記の要領でご応募下さい。正解者の中から抽選で5名様に図書カードを差し上げます。



応募要項

50

395-0024

飯田市社会福祉協議会
「おマメで」編集委員会宛
飯田市東栄町三〇八一

- ①クイズの答え
- ②住所
- ③氏名 ④年齢
- ⑤電話
- ⑥「おマメで」の感想

応募締切 10月末日(当日消印有効)

クイズの答え、当選者は71号紙面にて発表。
※ご応募の際にお書きいただいた個人情報
はプレゼント発送以外には使用いたしません。
※感想等は匿名にて誌面に掲載させていただく場合がございます。

69号クイズの答え・当選者

答 え：第1問 味覚 第2問 音楽 第3問 流星 第4問 場面
当選者：太田 登 様(東野) 齊藤 ちえみ 様(竜丘) 福沢 良夫 様(鼎)
小笠原 和江 様(竜丘) 伊藤 ともみ 様(伊賀良)
おめでとうございました！たくさんのご応募ありがとうございました。

たくさんの
ご応募お待ち
しています！

